

住まい対策アンケート集計結果報告書

1 調査の目的

新城市では、団塊の世代が75歳以上となる2025年に向け、地域包括ケアシステムの構築を推進しています。地域包括ケアシステムの構築には、住み慣れた地域で最期まで安心して暮らせるために、住まい、医療、介護、生活支援、予防が一体的に提供されることが重要となります。

そこで、平成27年度から住まい対策ワーキングを開催し、高齢者の住まいに対する課題等を検討してきました。高齢者の住まいの現状を把握し、住環境(ハード)の整備と生活支援(ソフト)の問題点を検討していく中で、まずは高齢者の住環境の整備に関する思いや、地域での支え合い活動などへの参加意識を把握し、その上で今後の支援策を検討することが必要ということになり、高齢者本人と高齢者を支える世代の意識調査を行うこととしました。

今回のアンケートでは、高齢期における住まいや社会貢献活動等に関する意識等を把握し、今後の地域包括ケアシステム構築の基礎資料とします。

また、市内在住の40歳以上の方5,000名という多くの方を対象とした調査を実施することから、表紙裏面に地域包括ケアシステムの説明を記載し、市民への認知度を上げる目的で耐震改修時バリアフリー化事業補助金及び介護保険住宅改修費支給、今後重要になるとと思われるヒートショックなどの説明文を設問中に入れ、アンケートを行うことと同時に、市民への普及啓発も併せて実施しました。

2 調査項目

- I. あなたご自身のことについてお聞かせください。
- II. あなたのお住まいについてお聞かせください。
- III. あなたや親族(別居の方も含む)が、高齢期に安心して暮らすためにどのようにお考えかお聞かせください。
- IV. 高齢者や障がい者が、住み慣れた地域で暮らしていくために、地域のみinnで支え合うことが重要となります。地域でのボランティアなどの社会参加・貢献活動について、あなたの意向をお聞かせください。
- V. 高齢者や障がい者が、住み慣れた地域で暮らしていくために、地域のみinnで支え合うことが重要となります。これからの住まいについて、新城市にはどのようなことが重要だと思うかお聞かせください。

3 調査対象など

地域:市内全域

対象:市内在住の40歳以上の男女

抽出方法:住民基本台帳より無作為抽出

調査方法:郵送による送付回収

調査期間:平成28年11月下旬～12月16日

4 回収結果

配布数:5,000人

回答数:2,867人

回収率:57.3%

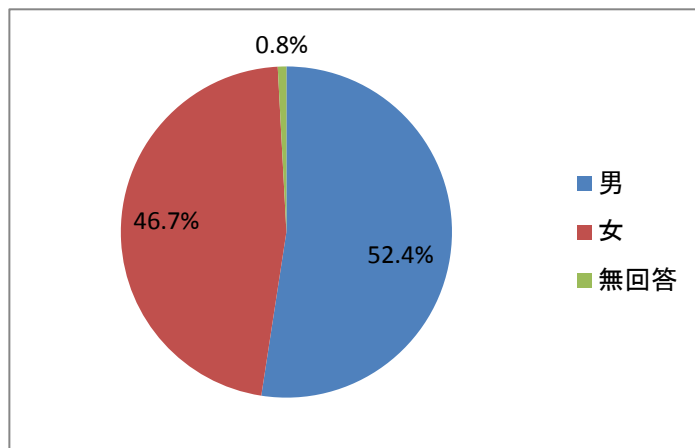
5 アンケート結果

I. あなたご自身のことについてお聞かせください。

問1 あなたの性別は。(1つに○)

男女比は、ほぼ半分ずつとなっています。

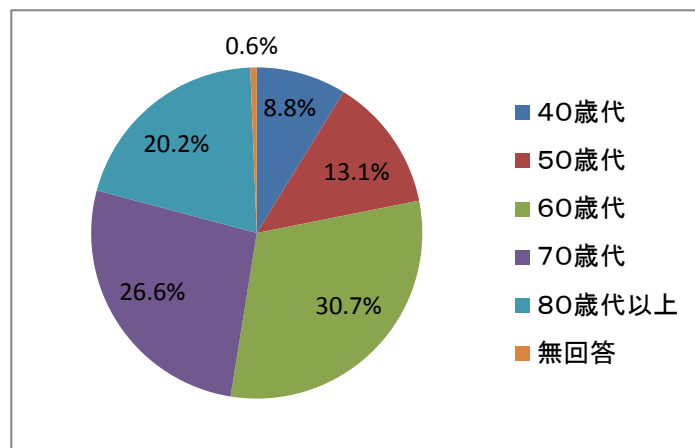
No	項目	人数	割合
1	男	1,503	52.4%
2	女	1,340	46.7%
	無回答	24	0.8%
	合計	2,867	100.0%



問2 あなたの年齢は。(1つに○)

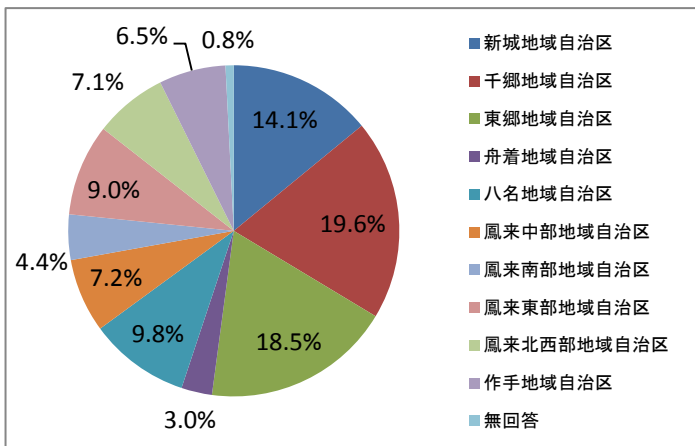
40歳代(8.8%)、50歳代(13.1%)の回収率がやや低くなっています。

No	項目	人数	割合
1	40歳代	252	8.8%
2	50歳代	375	13.1%
3	60歳代	879	30.7%
4	70歳代	763	26.6%
5	80歳代以上	580	20.2%
	無回答	18	0.6%
	合計	2,867	100.0%



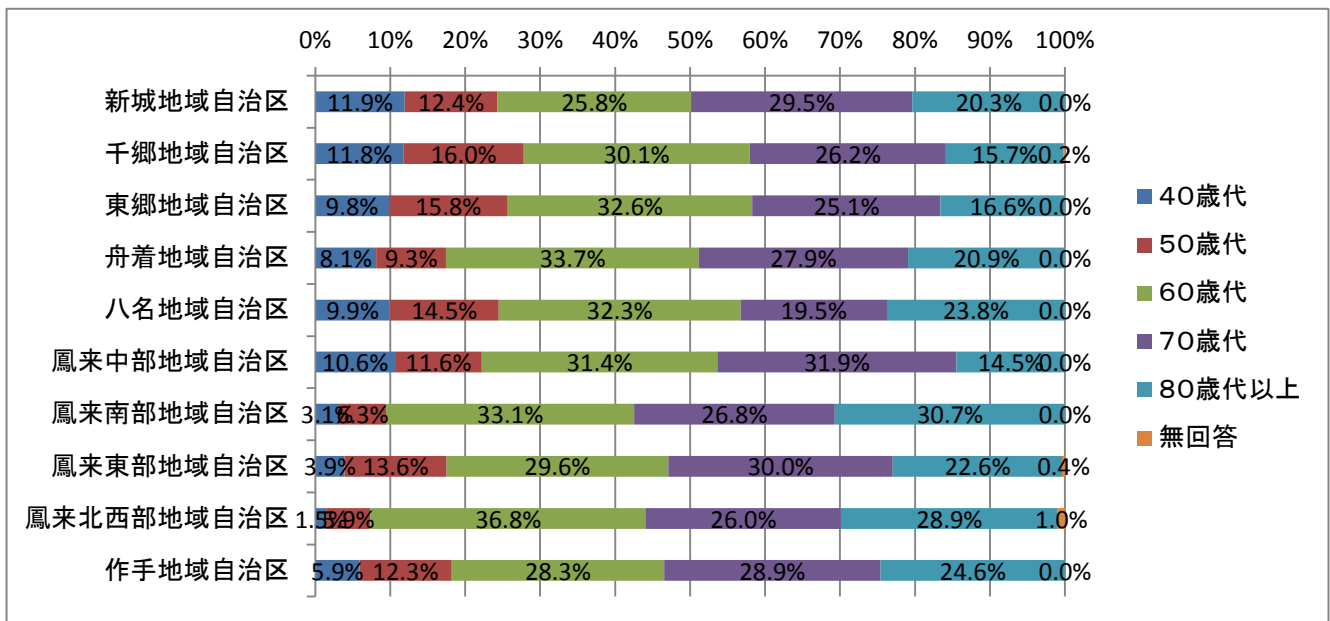
問3 あなたのお住まいの地域は。(1つに○)

No	項目	人数	割合
1	新城地域自治区	403	14.1%
2	千郷地域自治区	561	19.6%
3	東郷地域自治区	530	18.5%
4	舟着地域自治区	86	3.0%
5	八名地域自治区	282	9.8%
6	鳳来中部地域自治区	207	7.2%
7	鳳来南部地域自治区	127	4.4%
8	鳳来東部地域自治区	257	9.0%
9	鳳来北西部地域自治区	204	7.1%
10	作手地域自治区	187	6.5%
	無回答	23	0.8%
	合計	2,867	100.0%



【問3の年代別割合】

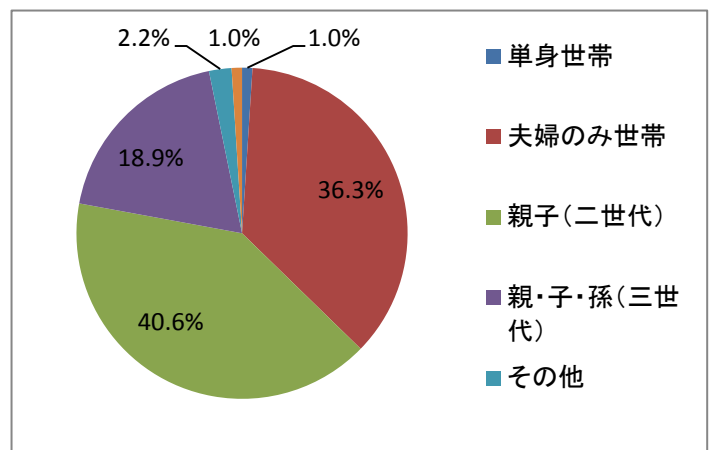
鳳来南部地域自治区と鳳来北西部地域自治区は、60歳代以上の方が9割を超えています。



問4 あなたの世帯構成をお聞きます。(同居世帯を含む。)(1つに○)

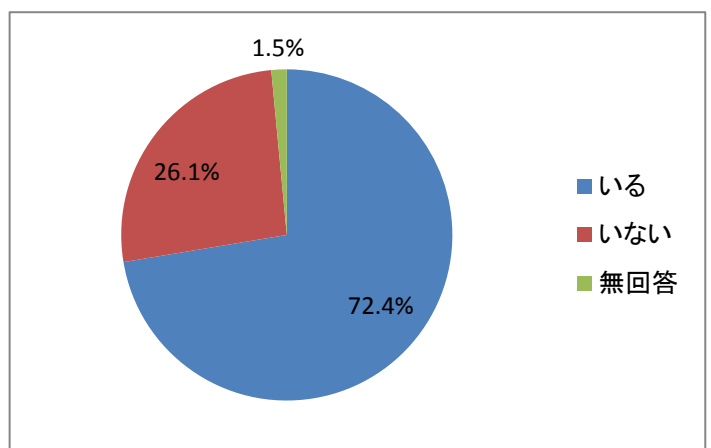
親子(40.6%)が最も多く、夫婦のみ世帯(36.3%)、親・子・孫(18.9%)の順となっています。

No	項目	人数	割合
1	単身世帯	29	1.0%
2	夫婦のみ世帯	1,040	36.3%
3	親子(二世帯)	1,164	40.6%
4	親・子・孫(三世帯)	542	18.9%
5	その他	63	2.2%
	無回答	29	1.0%
	合計	2,867	100.0%



問5 あなたの世帯に65歳以上の方はいますか。(1つに○)

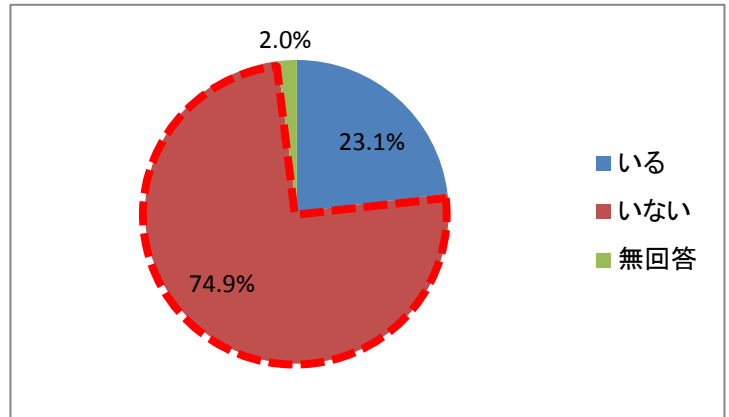
No	項目	人数	割合
1	いる	2,075	72.4%
2	いない	749	26.1%
	無回答	43	1.5%
	合計	2,867	100.0%



問6 あなたの世帯に要介護者、障がい者の方はいますか。(1つに○)

いないと回答した方が74.9%となっています。問5で65歳以上の方がいる世帯が72.4%と回答があり、新城市の方は65歳以上でも元気な方が多いという結果となっています。

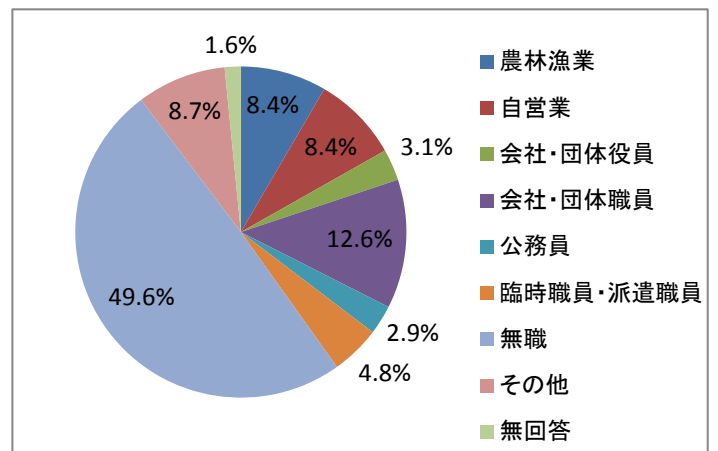
No	項目	人数	割合
1	いる	662	23.1%
2	いない	2,147	74.9%
	無回答	58	2.0%
	合計	2,867	100.0%



問7 あなたの主な職業は。(1つに○)

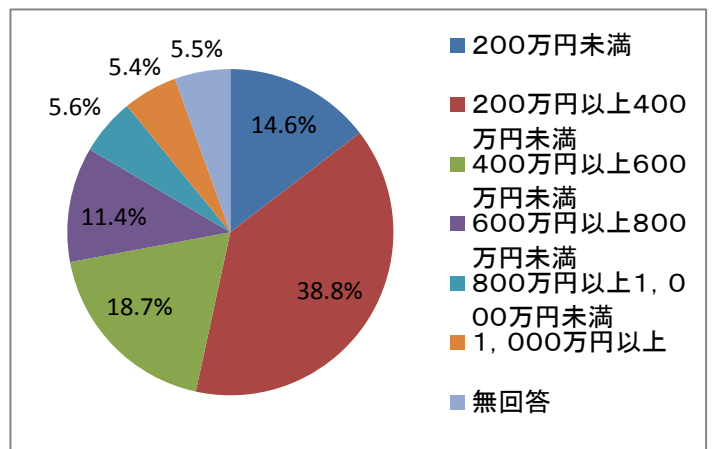
無職と回答した方が49.6%、1,421人と一番多くなっています。問2で60歳以上の方が2,222人となっているため、65歳以上となっても多くの方が働いているという結果となっています。

No	項目	人数	割合
1	農林漁業	241	8.4%
2	自営業	241	8.4%
3	会社・団体役員	88	3.1%
4	会社・団体職員	361	12.6%
5	公務員	82	2.9%
6	臨時職員・派遣職員	138	4.8%
7	無職	1,421	49.6%
8	その他	250	8.7%
	無回答	45	1.6%
	合計	2,867	100.0%



問8 あなたの世帯の平成27年中の合計収入をお聞きます。(1つに○)

No	項目	人数	割合
1	200万円未満	418	14.6%
2	200万円以上400万円未満	1,113	38.8%
3	400万円以上600万円未満	535	18.7%
4	600万円以上800万円未満	327	11.4%
5	800万円以上1,000万円未満	161	5.6%
6	1,000万円以上	155	5.4%
	無回答	158	5.5%
	合計	2,867	100.0%

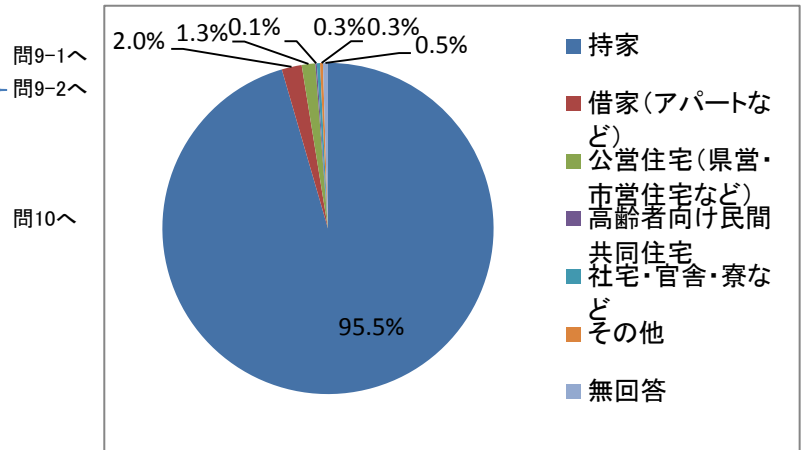


II. あなたのお住まいについてお聞かせください。

問9 あなたは現在どのような住宅にお住まいですか。(1つに○)

持家の方が95.5%となっており、新都市の持家率は84%のため、アンケート回答者は持家の方の割合が多いという結果となっています。

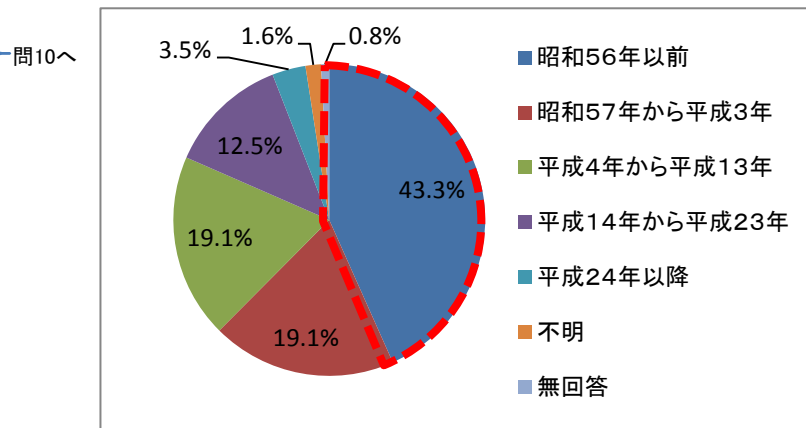
No	項目	人数	割合
1	持家	2,738	95.5%
2	借家(アパートなど)	56	2.0%
3	公営住宅(県営・市営住宅など)	38	1.3%
4	高齢者向け民間共同住宅	4	0.1%
5	社宅・官舎・寮など	9	0.3%
6	その他	8	0.3%
	無回答	14	0.5%
	合計	2,867	100.0%



問9-1 お住まいの住宅の建築時期はいつですか。(1つに○)

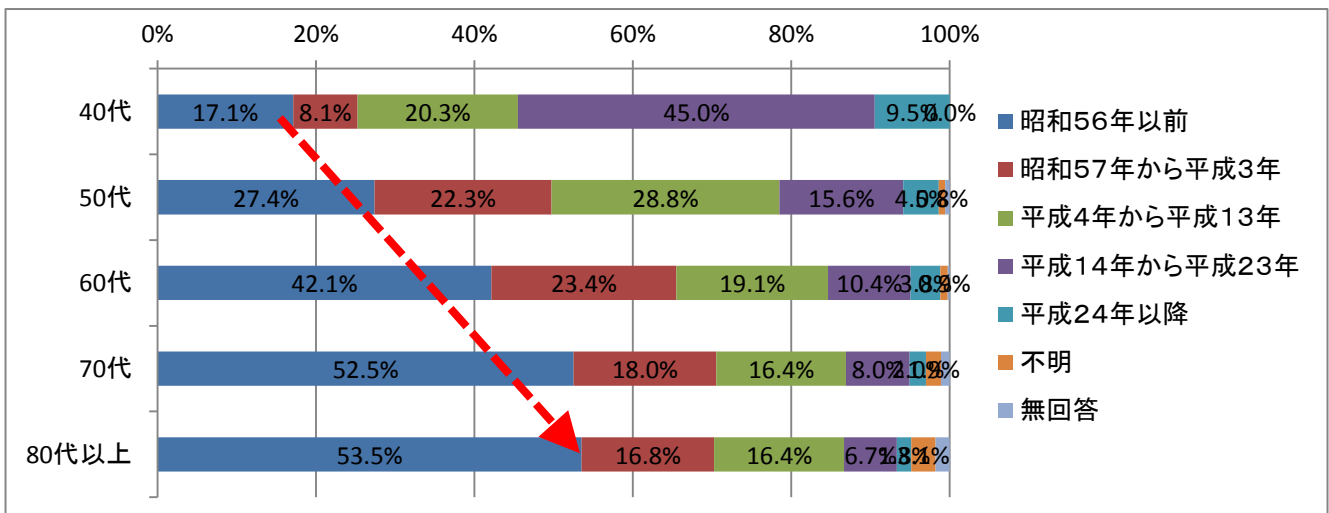
昭和56年以前(旧耐震基準)に建てられた住宅が43.3%と一番多くなっており、災害時の被害が懸念されます。

No	項目	人数	割合
1	昭和56年以前	1,186	43.3%
2	昭和57年から平成3年	524	19.1%
3	平成4年から平成13年	523	19.1%
4	平成14年から平成23年	343	12.5%
5	平成24年以降	95	3.5%
6	不明	44	1.6%
	無回答	23	0.8%
	合計	2,738	100.0%

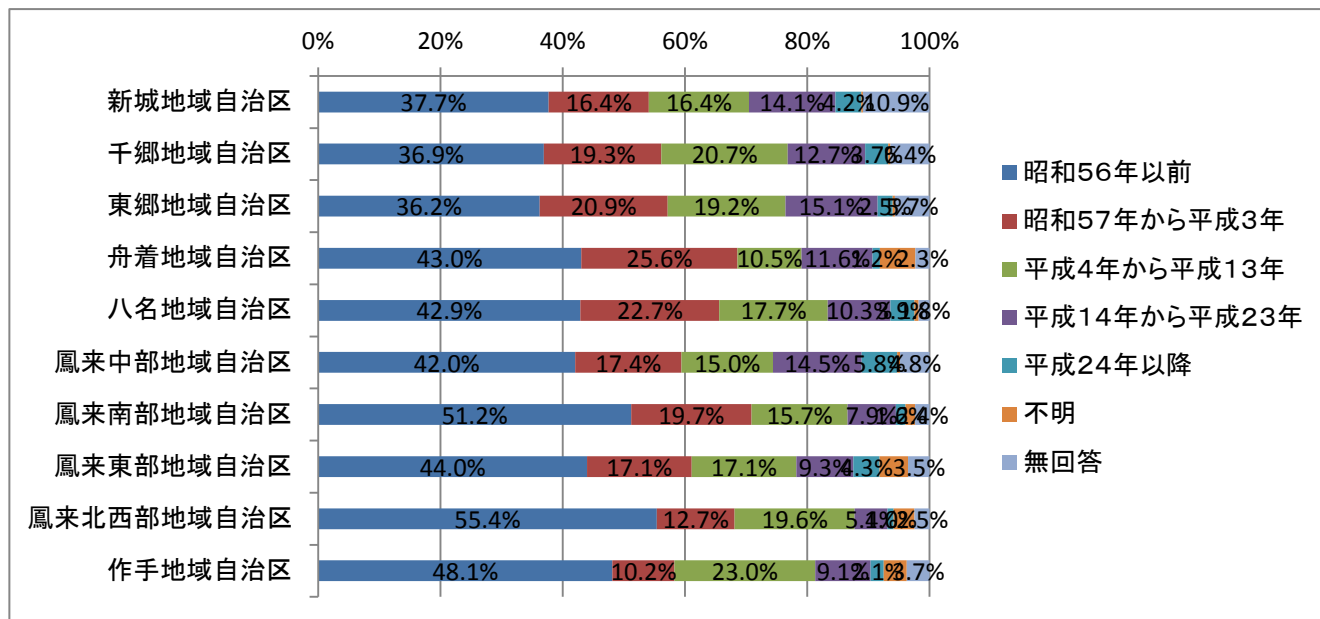


【問9-1の年代別・地区別割合】

年代が上がるほど、建築時期が古い住宅に住んでいる結果となっています。

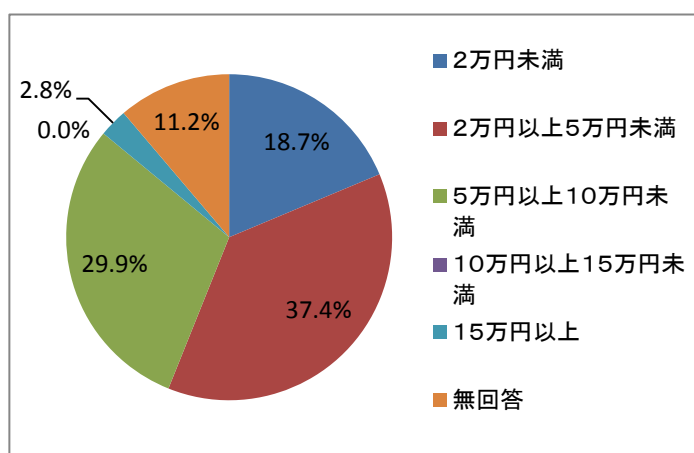


鳳来北西部地域自治区(55.4%)と鳳来南部地域自治区(51.2%)が、昭和56年以前に建てられた住宅に住んでいる方の割合が半数を超えています。



問9-2 毎月の家賃はいくらですか。(1つに○)

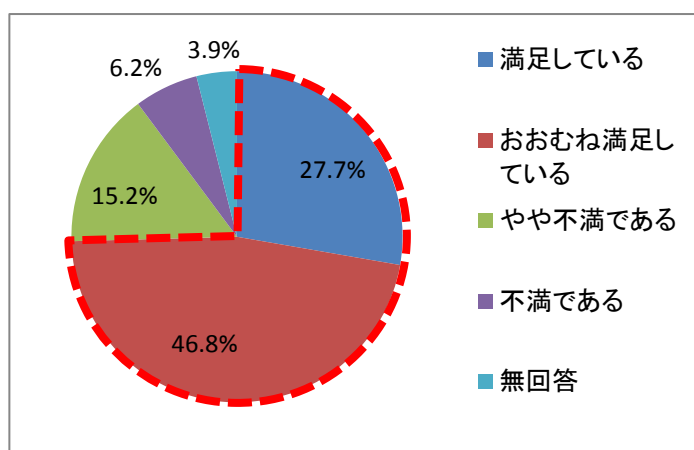
No	項目	人数	割合
1	2万円未満	20	18.7%
2	2万円以上5万円未満	40	37.4%
3	5万円以上10万円未満	32	29.9%
4	10万円以上15万円未満	0	0.0%
5	15万円以上	3	2.8%
	無回答	12	11.2%
	合計	107	100.0%



問10 あなたの現在の住まいについてどの程度満足されているかお聞きます。(1つに○)

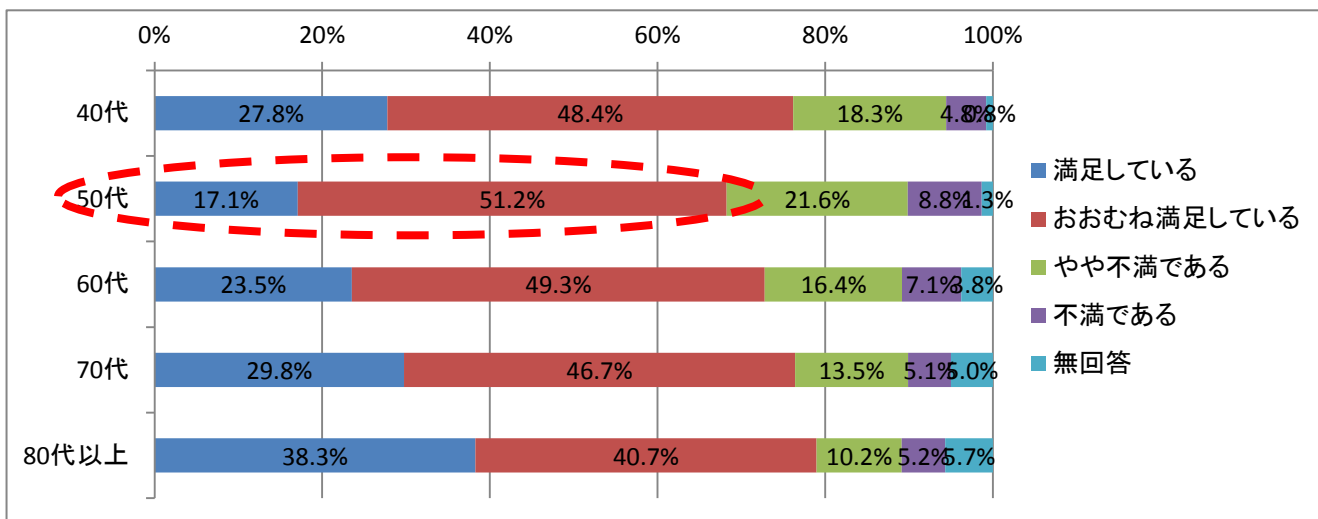
満足している(27.7%)とおおむね満足している(46.8%)と答えた方を合わせると全体の約3/4となっており、多くの方が現在の住宅に満足しているという結果となっています。

No	項目	人数	割合
1	満足している	795	27.7%
2	おおむね満足している	1,343	46.8%
3	やや不満である	437	15.2%
4	不満である	179	6.2%
	無回答	113	3.9%
	合計	2,867	100.0%



【問10の年代別割合】

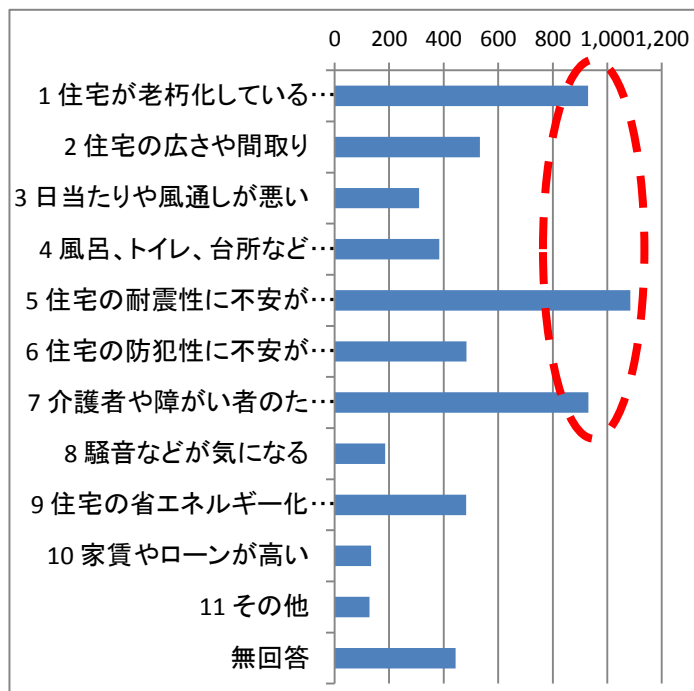
50歳代の満足度が、他の年代より低い結果となっています。



問11 現在の住まいについて、今後不安な点は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

住宅の耐震性に不安があると答えた方が1,085人で最も多く、問9-1の昭和56年以前に建てられた住宅に住んでいる方の人数とほぼ同数となっています。次に、介護者や障がい者のための対策がされていない(931人)と住宅が老朽化している(930人)と答えた方がほぼ同数となっています。

No	項目	人数	割合
1	住宅が老朽化している(住宅が古い)	930	16.6%
2	住宅の広さや間取り	533	9.5%
3	日当たりや風通しが悪い	310	5.5%
4	風呂、トイレ、台所などの水回り設備が不十分	384	6.9%
5	住宅の耐震性に不安がある	1,085	19.4%
6	住宅の防犯性に不安がある	484	8.7%
7	介護者や障がい者のための対策がされていない	931	16.7%
8	騒音などが気になる	186	3.3%
9	住宅の省エネルギー化の対策がされていない	483	8.6%
10	家賃やローンが高い	134	2.4%
11	その他	128	2.3%
	合計	5,588	100.0%
	無回答	444	

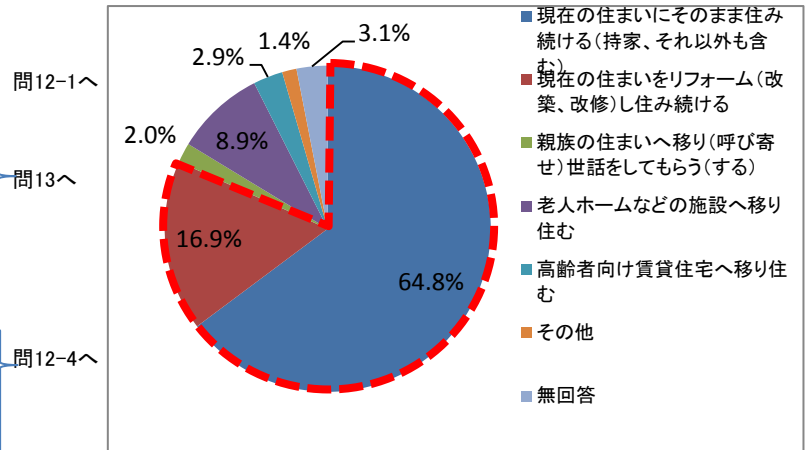


Ⅲ. あなたや親族(別居の方も含む)が、高齢期に安心して暮らすためにどのようにお考えかお聞かせください。

問12 あなたや親族(別居の方も含む)が高齢者となった場合(現在高齢者の方を含む)に、どのような住宅で暮らすことを望みますか。(1つに○)

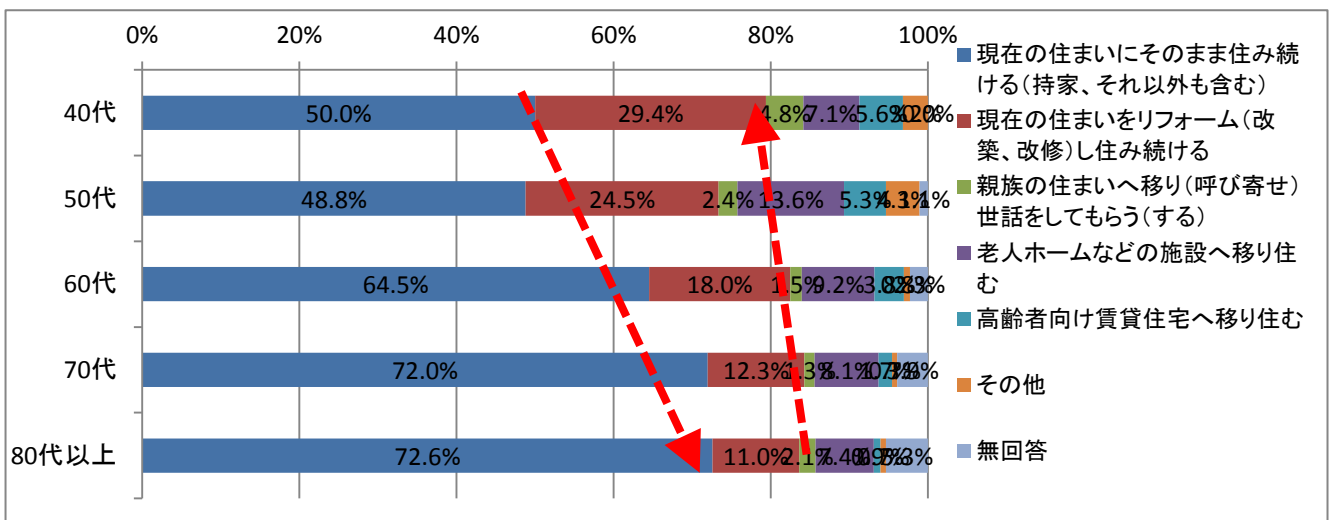
現在の住まいにそのまま住み続ける(64.8%)と現在の住まいをリフォームし住み続ける(16.9%)と答えた方を合わせると80%以上となっており、多くの方が現在の住まいに住み続けたいと考えているという結果となりました。

No	項目	人数	割合
1	現在の住まいにそのまま住み続ける(持家、それ以外も含む)	1,855	64.8%
2	現在の住まいをリフォーム(改築、改修)し住み続ける	485	16.9%
3	親族の住まいへ移り(呼び寄せ)世話をしてもらう(する)	56	2.0%
4	老人ホームなどの施設へ移り住む	254	8.9%
5	高齢者向け賃貸住宅へ移り住む	84	2.9%
6	その他	41	1.4%
	無回答	88	3.1%
	合計	2,863	100.0%



【問12の年代別割合】

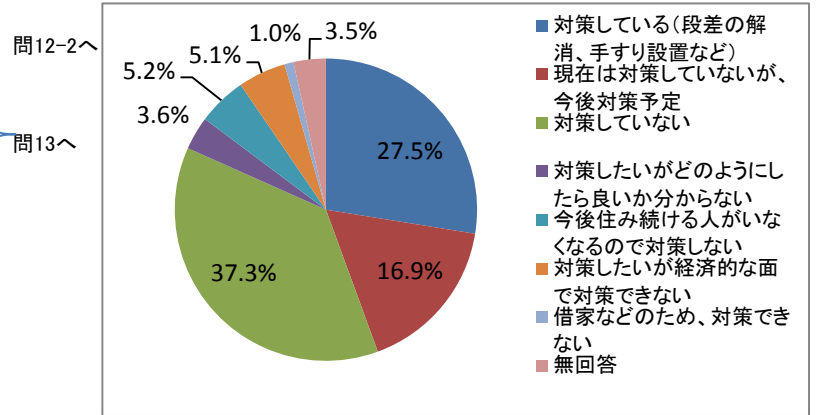
現在の住まいにそのまま住み続ける方の割合が、年代が上がるごとに高くなっています。また、現在の住まいをリフォームし住み続ける方の割合は、年代が下がるごとに高くなっています。



問12-1 介護等が必要となった場合の対策はしてありますか。(1つに○)

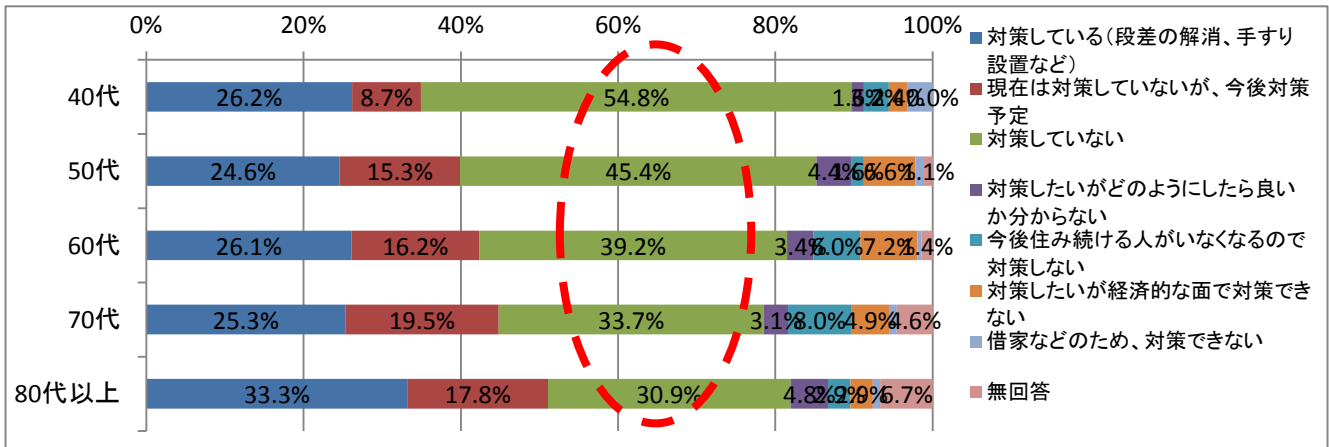
対策していない方が37.3%で最も多く、続いて、対策している(27.5%)、今後対策予定(16.9%)となっています。

No	項目	人数	割合
1	対策している(段差の解消、手すり設置など)	511	27.5%
2	現在は対策していないが、今後対策予定	313	16.9%
3	対策していない	691	37.3%
4	対策したいがどのようにしたら良いか分からない	66	3.6%
5	今後住み続ける人がいなくなるので対策しない	97	5.2%
6	対策したいが経済的な面で対策できない	95	5.1%
7	借家などのため、対策できない	18	1.0%
	無回答	64	3.5%
	合計	1,855	100.0%



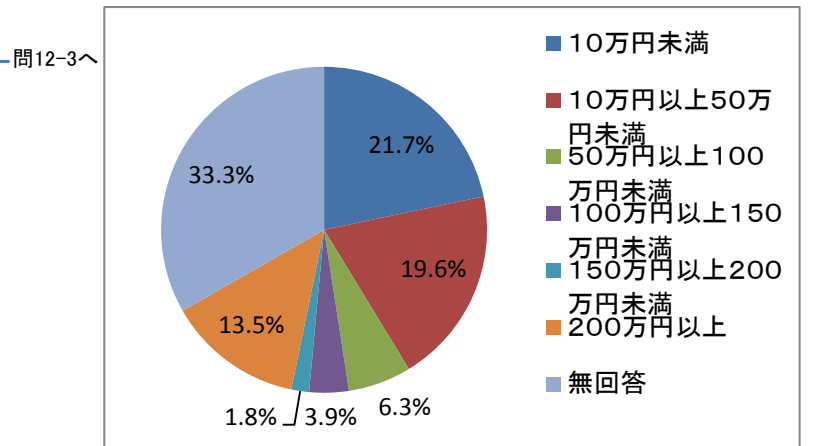
【問12-1の年代別割合】

年代が下がるにつれ、対策していない方の割合が多くなっている。



問12-2 対策費用はいくらかかりましたか。(1つに○)また、対策内容についてお書きください。

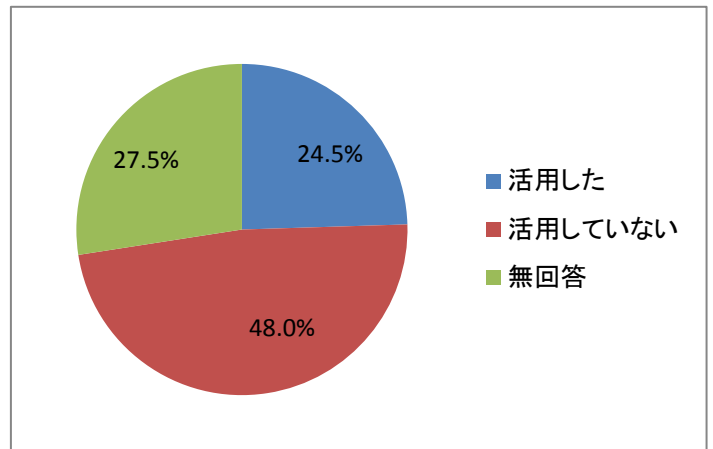
No	項目	人数	割合
1	10万円未満	111	21.7%
2	10万円以上50万円未満	100	19.6%
3	50万円以上100万円未満	32	6.3%
4	100万円以上150万円未満	20	3.9%
5	150万円以上200万円未満	9	1.8%
6	200万円以上	69	13.5%
	無回答	170	33.3%
	合計	511	100.0%



問12-3 対策される際に、補助金等は活用されましたか。(1つに○)また、活用された場合、どのような補助金等を活用されたかお書きください。

活用していないと答えた方が約半数となっており、今後周知をする必要があると考えます。

No	項目	人数	割合
1	活用した	125	24.5%
※1	1耐震改修時バリアフリー化事業補助金	15	
※2	2介護保険住宅改修費支給	87	
	3その他	8	
2	活用していない	245	48.0%
	無回答	140	27.5%
	合計	510	100.0%



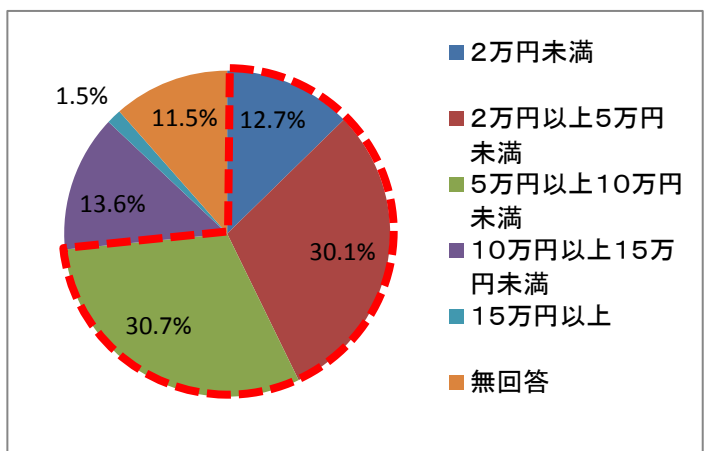
※1 木造住宅の耐震改修工事と併せて行う高齢者等が同居する住宅のバリアフリー化工事に要する費用について、バリアフリー化に要する費用の1/2(20万円を上限)を交付

※2 手すりの取り付けや段差解消などの住宅改修をしたとき、20万円を上限(自己負担は1割、一定以上の所得者は2割)に費用が支給されます。

問12-4 移り住む場合、毎月の家賃はどれくらい支払い可能ですか。(1つに○)

10万円未満と答えている方が、合わせて全体の約3/4となっています。

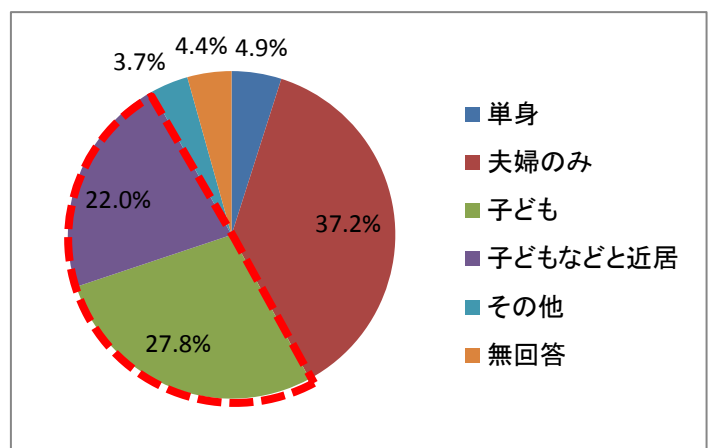
No	項目	人数	割合
1	2万円未満	43	12.7%
2	2万円以上5万円未満	102	30.1%
3	5万円以上10万円未満	104	30.7%
4	10万円以上15万円未満	46	13.6%
5	15万円以上	5	1.5%
	無回答	39	11.5%
	合計	339	100.0%



問13 あなたが高齢者となった場合(現在高齢者の方を含む)に、だれといっしょに住みたいと望みますか。(1つに○)

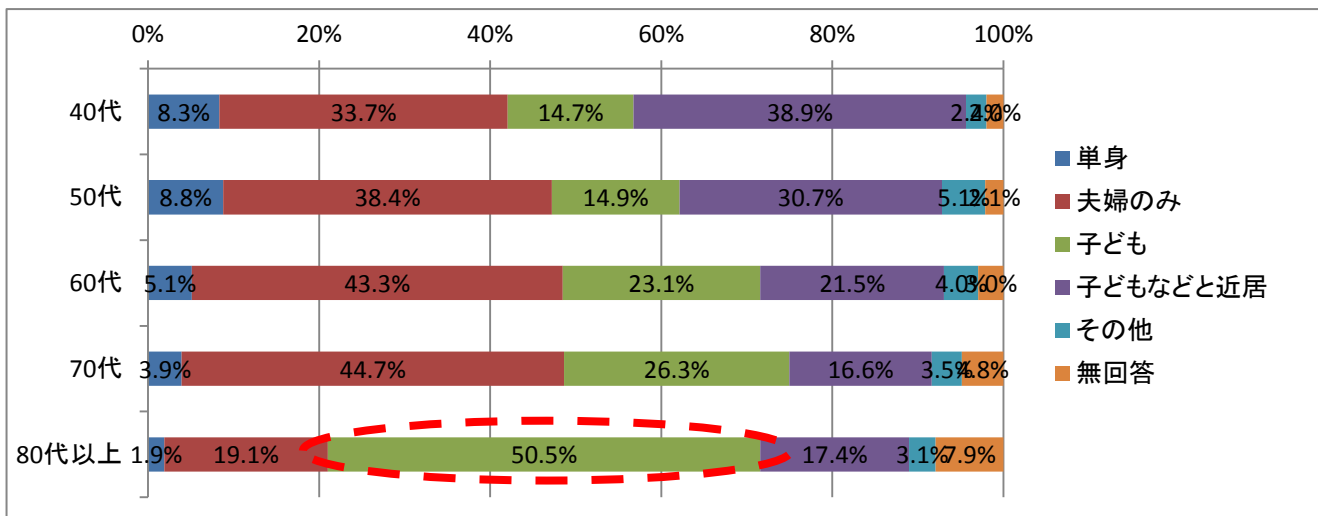
子ども(27.8%)と子どもなどと近居(22.0%)と答えている方が合わせて約半数となっており、子どもといっしょに住みたいと望んでいる方が多い結果となりました。

No	項目	人数	割合
1	単身	141	4.9%
2	夫婦のみ	1,066	37.2%
3	子ども	796	27.8%
4	子どもなどと近居	632	22.0%
5	その他	107	3.7%
	無回答	125	4.4%
	合計	2,867	100.0%

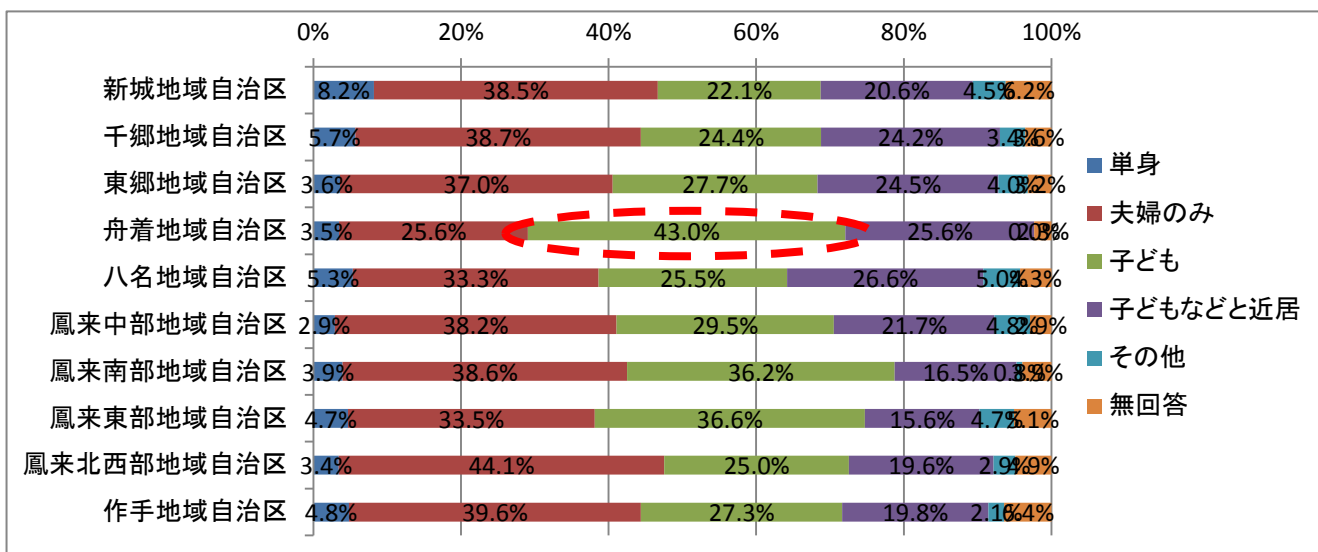


【問13の年代別・地区別割合】

年代が上がるにつれ子どもといっしょに住みたいと望み、年代が下がるにつれ子どもなどと近居を望む割合が多くなっています。また、80歳代以上の方は、子どもと答えた方の割合が半数を超えています。



舟着地域自治区の子どもと答えた方が43.0%で非常に多くなっています。

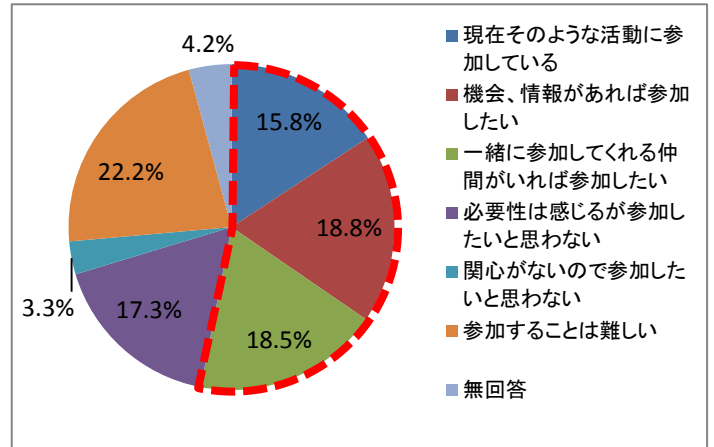


IV. 高齢者や障がい者が、住み慣れた地域で暮らしていくために、地域の人々で支え合うことが重要となります。地域でのボランティアなどの社会参加・貢献活動について、あなたの意向をお聞かせください。

問14 地域活動やボランティア活動などについて、あなたはどのようにお考えですか。(1つに○)

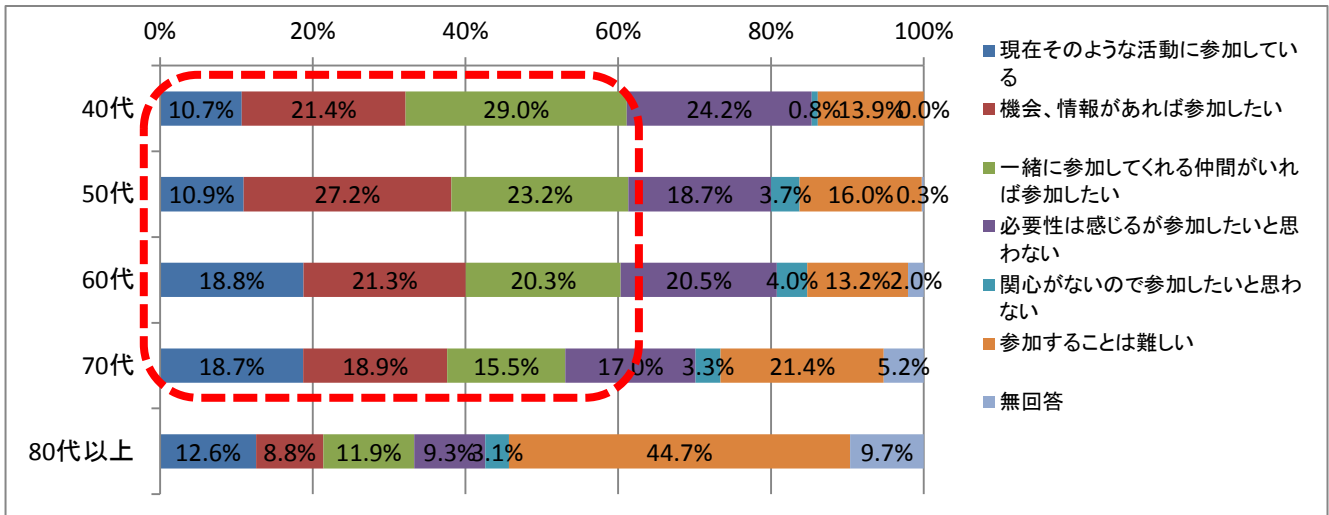
参加していると参加したいと答えた方を合わせると半数以上となっており、多くの方がボランティア活動などに意識が高いということが分かりました。

No	項目	人数	割合
1	現在そのような活動に参加している	452	15.8%
2	機会、情報があれば参加したい	539	18.8%
3	一緒に参加してくれる仲間がいれば参加したい	529	18.5%
4	必要性を感じるが参加したいと思わない	496	17.3%
5	関心がないので参加したいと思わない	94	3.3%
6	参加することは難しい	636	22.2%
	無回答	121	4.2%
	合計	2,867	100.0%



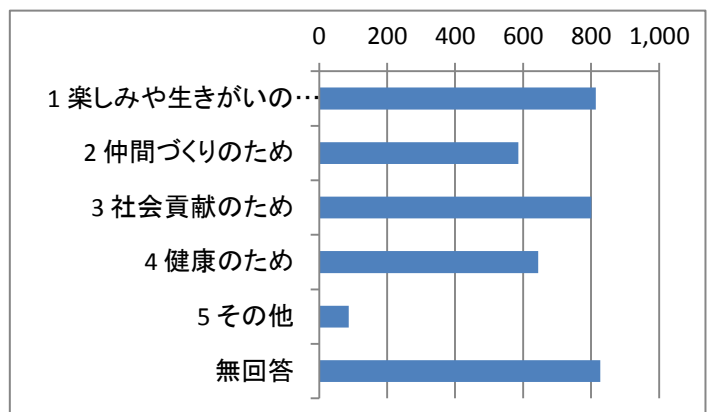
【問14の年代別割合】

80歳代以上を除き、年代が上がるにつれて参加している方が多い。70歳代以下の多くの方に参加してもらえよう、情報を発信し、仲間を見つけ参加してもらえようとする必要があります。



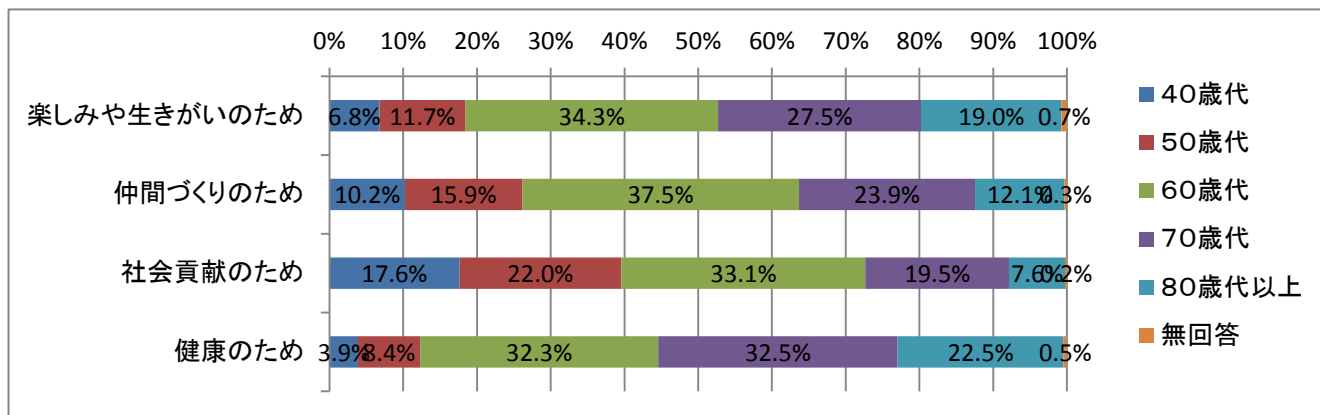
問15 あなたが、地域活動やボランティア活動などをしたいと思う(している)理由は何ですか。(あてはまるもの2つまでに○)

No	項目	人数	割合
1	楽しみや生きがいのため	814	27.8%
2	仲間づくりのため	586	20.0%
3	社会貢献のため	801	27.3%
4	健康のため	644	22.0%
5	その他	87	3.0%
	合計	2,932	100.0%
	無回答	827	



【問15の年代別割合】

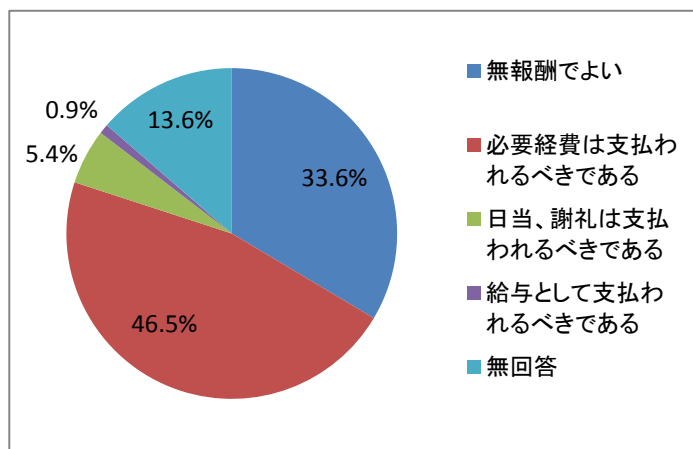
40歳代と50歳代は社会貢献のためと答えた方の割合が最も多くなっています。60歳代以上は楽しみや生きがいのためや健康のためと答えた方の割合が多くなっています。



問16 あなたは、地域活動やボランティア活動などをするとした場合、報酬等についてどのように考えますか。(1つに○)

必要経費は支払われるべきであると答えた方が46.5%で最も多くなっています。

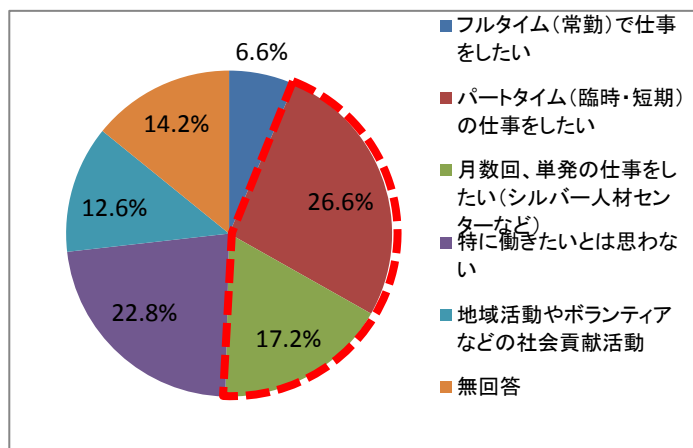
No	項目	人数	割合
1	無報酬でよい	962	33.6%
2	必要経費は支払われるべきである	1,332	46.5%
3	日当、謝礼は支払われるべきである	155	5.4%
4	給与として支払われるべきである	27	0.9%
	無回答	391	13.6%
	合計	2,867	100.0%



問17 定年退職後(すでに定年退職した方も含む)にあなたが「仕事」をするのであれば、どの程度の仕事をしたいと思いますか。(1つに○)

パートタイムの仕事をしたい(26.6%)と月数回、単発の仕事をしたい(17.2%)と答えた方を合わせると半数近くとなっており、フルタイムで仕事をしたい(6.6%)と答えた方は最も少なくなっています。また、地域活動やボランティアなどの社会貢献活動と答えた方が12.6%となっています。

No	項目	人数	割合
1	フルタイム(常勤)で仕事をしたい	188	6.6%
2	パートタイム(臨時・短期)の仕事をしたい	763	26.6%
3	月数回、単発の仕事をしたい(シルバー人材センターなど)	493	17.2%
4	特に働きたいとは思わない	655	22.8%
5	地域活動やボランティアなどの社会貢献活動	362	12.6%
	無回答	406	14.2%
	合計	2,867	100.0%

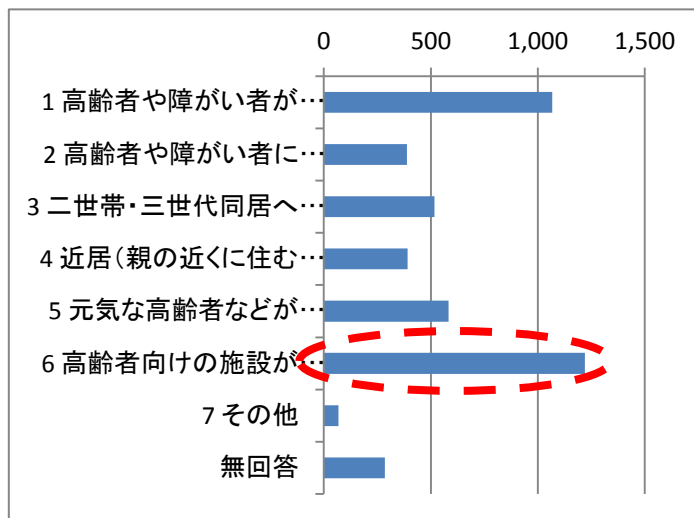


V. 高齢者や障がい者が、住み慣れた地域で暮らしていくために、地域のみなで支え合うことが重要となります。これからの住まいについて、新都市にはどのようなことが重要だと思いかお聞かせください。

問18 住まいについて何が重要だと思いますか。(あてはまるもの2つまでに○)

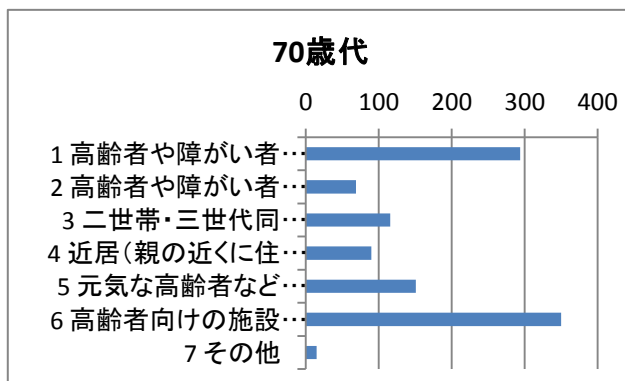
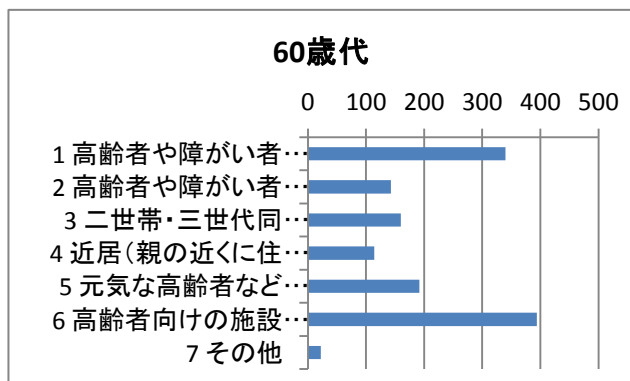
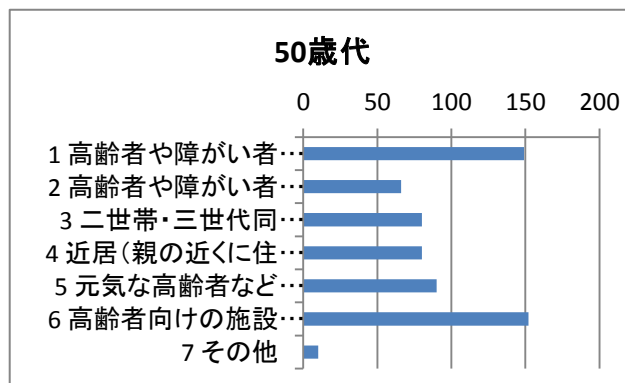
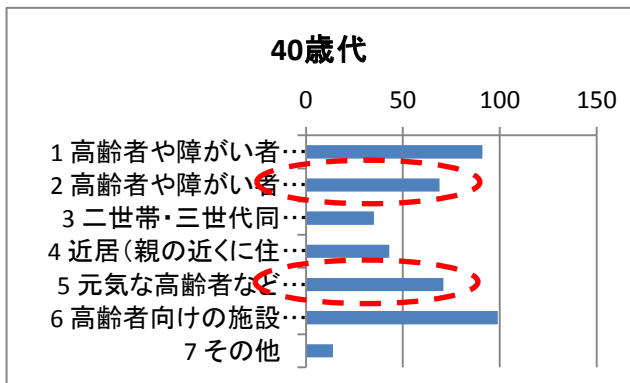
高齢者向けの施設が充実していることと答えた方が1,220人で最も多く、問12で現在の住まいに住み続けたいと答えた方が8割以上となった結果と、異なる意見となっています。また、高齢者や障がい者が住みやすい住宅整備を支援することと答えた方が1,067人で、次に多くなっています。

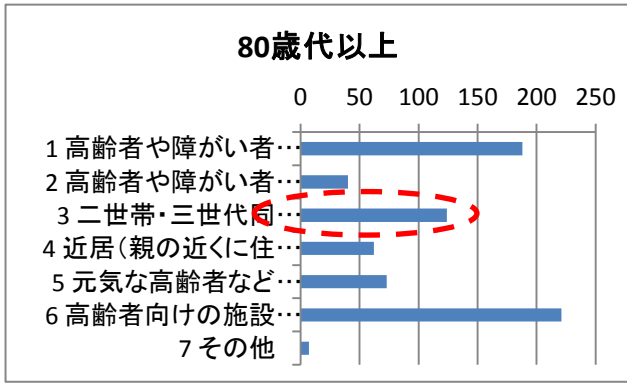
No	項目	人数	割合
1	高齢者や障がい者が住みやすい住宅整備を支援すること	1,067	25.2%
2	高齢者や障がい者に配慮した、民間賃貸住宅や公営住宅が充実していること	389	9.2%
3	二世帯・三世帯同居への支援をすること	517	12.2%
4	近居(親の近くに住むこと)への支援をすること	391	9.2%
5	元気な高齢者などが集まって暮らせる住宅など、新しい住み方を普及させること	583	13.8%
6	高齢者向けの施設が充実していること	1,220	28.8%
7	その他	69	1.6%
	合計	4,236	100.0%
	無回答	286	



【問18の年代別数】

特徴がある年代として40歳代の回答が、高齢者や障がい者に配慮した、民間賃貸住宅や公営住宅が充実していることと元気な高齢者などが集まって暮らせる住宅など、新しい住み方を普及させることと答えた方が他の年代より多くなっています。また、80歳代以上の回答が、二世帯・三世帯同居への支援をすることと答えた方が他の年代より多くなっています。

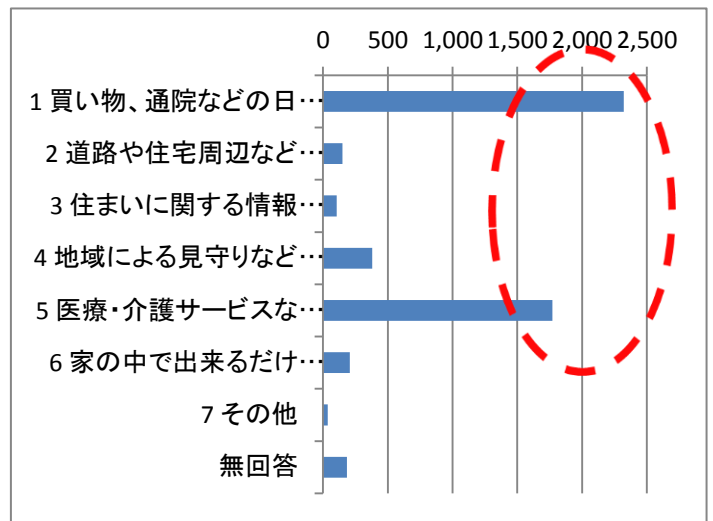




問19 住環境について何が重要だと思いますか。(あてはまるもの2つまでに○)

買い物、通院などの日常生活が便利であることと答えた方が最も多く2,322人となっています。次に、医療・介護サービスなどが受けやすいことと答えた方が1,771人で多くなっています。

No	項目	人数	割合
1	買い物、通院などの日常生活が便利であること	2,322	46.7%
2	道路や住宅周辺などに段差等がない環境であること	149	3.0%
3	住まいに関する情報提供や相談体制が充実していること	104	2.1%
4	地域による見守りなどが充実していること	379	7.6%
5	医療・介護サービスなどが受けやすいこと	1,771	35.7%
6	家の中で出来るだけ寒暖の差がないよう、身体の健康のこと(ヒートショック※)を考えた対策がされていること	207	4.2%
7	その他	35	0.7%
	合計	4,967	100.0%
	無回答	184	



※ 急激な温度変化により、血圧が大きく変動することで、失神や心筋梗塞、脳梗塞などを起こすことがあり、死に至る場合があります。ヒートショックによる死亡者は年間約17,000人で、交通死亡事故者の年間約4,000人より多くなっています。

【問19の年代別割合】

70歳代以上の方の回答で、道路や住宅周辺などに段差等がない環境であることと答えた割合が、他の項目より多くなっています。

